

## 令和7年度 第1回 千葉市自立支援協議会 運営事務局会議 議事録

開催日時	令和7年5月22日（木）14時00分～16時00分		
開催場所	若葉区保健福祉センター 3階 大会議室		
出席者	<委員>		
	伊藤 佳世子	氏	(中央区障害者基幹相談支援センター 管理者)
	井出 孝子	氏	(稲毛区障害者基幹相談支援センター 管理者)
	伊藤 正彦	氏	(若葉区障害者基幹相談支援センター 管理者)
	由良 亮人	氏	(緑区障害者基幹相談支援センター 管理者)
	藤本 真由美	氏	(美浜区障害者基幹相談支援センター 管理者)
	末永 慎介	氏	(鎌取相談支援センター 施設長)
	武内 康浩	氏	(千葉れんげサービス 管理者)
	高柳 佳弘	氏	(メープルリーフ 運営管理者)
	武藤 郁子	氏	(千葉市ひきこもり地域支援センター 事業責任者)
	鈴木 信知	氏	(千葉市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉推進班)
	仲村 美緒	氏	(千葉市発達障害者支援センター 所長)
	奥澤 清城	氏	(稲毛区高齢障害支援課 障害支援班主査)
	米元 俊晴	氏	(緑区高齢障害支援課 障害支援班主査)
	荒井 拓	氏	(障害福祉サービス課 指導班 主査)
	木村 直行	氏	(障害福祉サービス課 施設支援班 主査)
	山口 雅也	氏	(精神保健福祉課 通報対応班 主査)
	<オブザーバー>		
	北島 岳彦	氏	(障害福祉サービス課 地域支援班 主査)
	吉田 美穂	氏	(障害福祉サービス課 地域支援班)
	<事務局>		
	並木 知恵	氏	(若葉区障害者基幹相談支援センター)
	檜山 智耀	氏	(若葉区障害者基幹相談支援センター)
	<欠席>		
	田口 洋平	氏	(花見川区基幹相談支援センター 管理者)
	藤尾 健二	氏	(千葉障害者就業支援キャリアセンター センター長)
	垂水 成人	氏	(障害者自立支援課 企画班 主査)
	田島 淳也	氏	(障害者自立支援課 給付班 主査)
	手嶋 広記	氏	(障害福祉サービス課 地域支援班 主査)
議題	議題1 :【自立支援協議会報告】各区基幹 議題2 :【拠点CO会議報告】 議題3 :【医療的ケアコア会議報告】 議題4 :【就労部会】 議題5 :【千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業（以下、にも包括）】 議題6 :【児童意見交換会】 議題7 :【研修委員】 議題8 :【協議事項】 議題9 :【発達障害者支援センター案内】 議題10 :【千葉市ひきこもり地域支援センター案内】 議題11 :【千葉市社会福祉協議会案内】		

	<b>議題 1 【報告】自立支援協議会</b>	<b>資料なし</b>
	<b>若葉区 伊藤</b> <p>昨年度、消費生活センターの会に参加し、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）でパソコンのサポート詐欺の体験ができるなどを知り、周知した。他には、放課後等デイサービスで送迎が普及してきた半面、親同士のつながりが希薄化している話を聞き興味深く思っている。親同士のつながりは学校から始まり現在まで続くことが多いと伺ったので現在でもそのつながりを形成、維持することが必要だと感じている。</p>	
	<b>花見川区（欠席の為若葉区伊藤氏が代読）</b> <p>児童の意見交換会で事業所同士の連携を図っている。行政から児童のケースのセルフプラン率が上がっていると話があった。前任の管理者が保護者等から相談支援専門員について頼りになる、頼りにならないといった話を頂いた時には、相談支援専門員も始めたばかりの人からベテランまで幅があるため、保護者等との信頼関係を築いていろいろな経験を経ることでより頼れる人になるということを伝えていた。</p>	
議 事	<b>緑区 由良氏</b> <p>自立支援協議会の体制・事業計画について話をしている。地域課題の解決に向けた手段として、参加者から緑区の地域アセスメントの状況について感じている事を話し合った。</p> <p>都市部には人口が集中していて郊外は人口の減少が加速している。それに伴い公共交通機関の路線も減少している。</p>	
	<b>美浜区 藤本氏</b> <p>地域課題などについて聞いており、療育手帳非該当になってしまった子の進路や、福祉サービスにつながっていない方のケースを知的障害者相談員からご報告いただくこともある。そのほか、外国籍の方が多いので言語の壁に悩むこともある。</p>	
	<b>中央区 伊藤氏</b> <p>医ケア部会や運営事務局会議の報告をしている。中央区独自になるが、8050フォーラムを開催したほか、精神疾患未治療のドキュメンタリー映画を上映しその後座談会をするプログラムで組んでいる。</p> <p>強度行動障害のアンケート調査の結果が出ており、基幹への情報提供の了承がもらえている回答者もいる。。また、福祉まるごとサポートセンターと若者の支援で足りない資源や制度の検討の必要性という話をした。今年度も実践報告会をするが、今までではテーマの対象が高齢と障害だったが児童も含めて話していくべきという話をしている。</p>	
	<b>稲毛区 井出氏</b> <p>自立支援協議会に関する会議などの報告をしていて、今年度はテーマを設けて進めていく話が出ている。今年度から学校の先生にもオブザーバーとして参加してもらっている。</p> <p>拠点の取組みである予防的支援について、グループホームの体験（短期入所）を小学生も利用している報告をさせてもらい、委員の皆様から大人のサービスに子どもが利用して本当に良い経験になるのかどうか親と相談してほしい、という言葉を頂いている。</p>	

<b>議題 2 【報告】拠点 CO 会議報告</b>	<b>資料 7</b>
資料 7 の中に拠点コーディネーター会議の議事録・年間スケジュールも入っている。詳細は資料を確認していただく。	
<b>議題 3 【報告】医療的ケアコア会議報告</b>	<b>資料 8</b>
医ケア専門部会の今年度のスケジュール計画があり中身を確認してもらえたと考えている。	
<b>議題 4 【報告】就労部会</b>	<b>資料 9</b>
<p>就労選択事業が 10 月から始まるので、就労移行支援事業所を対象に勉強会・意見交換会をしている。現時点で、就労選択事業に取り組むと表明した事業所は 4 か所ほど。</p> <p>千葉県の特別支援学校の卒業生も対象となるが、10 月から開始できるのか不安もある。</p> <p>他地域でアセスメントをして引っ越してきた人が、そのアセスメント結果をもって利用できるのかどうか懸念もある。また、利用に向けて相談員に計画案を書いてもらうが全員に相談員をつける事が可能なのかという懸念点もある。</p>	
<b>障害福祉サービス課 木村氏</b>	
資料 9-2 のアンケートは、就労の意見交換会の参加有無に関わらず提出してもらうものとなっている。就労選択支援に関して事業所から疑問点や意見を記載できる項目を追加し意見交換会当日に市から回答することを考えているため、アンケート内容が今後変更になる見込みである。	
<b>議題 5 【報告】にも包括</b>	<b>資料 10</b>
<b>鎌取相談支援センター 末永氏</b>	
<p>にも包括は精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの略。千葉市精神保健福祉課が統括してくれている。入院治療から地域生活中心へのビジョンが示されている。行政が事務局になっていて 3 分科会形式になっていて、進め隊・広め隊・深め隊という 3 つの分科会で取り組んでいる。</p> <p>進め隊：病院側と福祉が一緒に専門性を高めて地域移行に取り組む事業所を増やしていく。</p> <p>広め隊：国民の意識変化のための啓発活動</p> <p>深め隊：障害のある当事者の人が活動側路を広げる活動をしている。</p> <p>進め隊：令和 7 年 10 月 14 日に病院・相談支援事業所との交流会を予定している。ケースの話・病院への相談方法・グループワークを検討している。</p> <p>他にも、12 月 12 日・2 月 13 日も進め隊の集まりがある。</p>	
<b>精神保健福祉課 山口氏</b>	
広め隊は大学生・高校生向けの普及啓発・公民館講座に取り組んでいる。公民館講座は一度やめて、こころの健康センターが主催している心の健康フェスティバルと共に参入予定。他にも、市が心のサポーター養成研修を開催している。今年は 11 月 21 日に養成研修を行う予定。	
<b>議題 6 【報告】児童意見交換会について</b>	<b>資料なし</b>
<b>障害福祉サービス課 荒井氏</b>	
令和 5 年度から実施している児童系事業所の各区での意見交換会を、今年度より主催者を区基幹から児童発達支援センターへ移行したうえで、実施の準備を行っている。また、児童発達支援センター管理者会議を 3 月に 1 回実施予定で、この会議の実施報告を運営事務局会議で報告させていただく予定である。	
<b>議題 7 【報告】研修委員</b>	<b>資料 11</b>
今年度の 6 区合同研修の年間予定となっているので各自確認をしてもらいたい。	

議題8【協議事項】	資料なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度障害の方の通院先について 稲毛区基幹 井出氏 稻毛区の地域部会にて重度障害の方の通院先がない課題について話し合った。相談員の意見交換会でも通院先が見つからないという意見をもらっているため、今回協議事項として挙げさせてもらった。</li> </ul>	
<b>鎌取相談支援センター 高柳氏</b> <p>もともと病院と繋がっているが主治医の退職に伴い別の病院を探してほしいというケースが増えている。紹介状の作成は可能だが病院指定での紹介状は書けないということもある。</p>	
<p>大きな病院に転院できれば一つの病院で診てもらうことが可能だが大病院だと待ち時間が長いという課題もある。</p>	
<p>難しいお願いだと思うが、行政の方から病院の発信等お願いできないかなと思っている。</p>	
<b>中央区基幹 伊藤氏</b>	
<p>強度行動障害の方が足を折って通院しても、障害特性上治療が難しいと言われたり、本人が動き回ってしまうので別の地域の病院で骨折のみ手術してもらい退院したケースはある。障害も含め診察できる病院を探すが見つからなかった。医ケアも同様で癌や精神疾患があるとみてもらえないこともある。</p>	
<p>この実情を医療機関や医師会の方が知らない可能性もあるので、在宅医療介護・連携支援センターの方に話をしている。</p>	
<b>鎌取相談支援センター 高柳氏</b>	
<p>精神障害の方で医療を受けられないと言われるが、担当しているケースでは結果的には医療を受けられている。本人が断るケースもあるので事前に情報提供しうまく対応してくれることもある。また、看護師が不安で対応が難しいこともありますので、看護師に説明をすることもある。</p>	
<b>若葉区基幹 伊藤</b>	
<p>若葉区でも知的・精神障害の方で骨折をして治療が必要な状態だが、本人の障害から痛い所などを上手く伝えられず意思表明が難しいため手術が出来ないと言われて保存治療となったケースがあった。</p>	
<b>稲毛区基幹 井出氏</b>	
<p>知的の重度障害の方だと医師が一步引いてしまい、親1人での対応が難しくヘルパーと一緒に行く事を進めているということだった。ただ、本人の様子によっては、ヘルパーの一人対応が難しく二人体制にしてほしいという話があった。 両親や計画相談の方によっては二人体制が可能というのを知らない方もいると思うので、情報発信していく機会を設けないといけないと感じた。</p>	
<b>鎌取相談支援センター 高柳氏</b>	
<p>通院等介助については院内介助の支給決定が必要である。院内介助によって本人が落ち着いて診察を受けられる・どこに支援が必要なのかという点を相談員の計画案に落とし込んでもらいたい。通院等介助はルールが複雑。行きと帰りによつては移動支援になる事もある。移動支援の手引きはあると思うが通院等介助の手引きのようなものもあると良いかもしない。</p>	
<b>障害福祉サービス課 北島氏</b>	
<p>制度が複雑というのは認識しているので行政として何かできることがないか考えたい。</p>	
<b>稲毛区高齢障害支援課 奥澤氏</b>	
<p>行政として心配なのは、医療の問題で区分更新時などの意見書の依頼先が不安。行政として受診先のあっせんは出来ないので医療の情報があると良いと感じた。</p>	
<p>・部会等で講師を呼ぶための研修費をつけてもらいたい 中央区基幹 伊藤氏</p>	

人材育成の研修を組んでいるがすべて持ち出しになっている。他圏域の先生も講師として招きたいので部会に講師の予算を組むことはできないか。研修会場も取れないのでZOOMで行っている。会場を借りるにしても会場を借りる費用の捻出も難しい。持ち出しを前提で組むとなると研修を考えるのがかなり厳しくなるので部会に予算を組むことが出来たら大変助かると思い、あげさせてもらった。

#### **障害福祉サービス課 北島氏**

基幹には各種研修・事業の開催をしてもらっていて大変ありがたく思っている。法人の持ち出しというのは好ましくないと考えているので、次年度予算での要望について検討したい。要望を検討するに当たっては、必要性・頻度・回数等について把握したい。また、会場については前年度から日程が決まっていれば、市役所会議室の確保をしやすいのであらかじめ教えていただきたい。

#### **・10代・20代のお金がない・居所がないケース 中央区基幹 伊藤氏**

若者の緊急対応の支援が増えていて繋ぎ先が難しい。居場所の問題や今後についてどうしていくべきかと悩んでいる。付き合っている男性からDVを受けて千葉に逃げてきたという方で知的障害の可能性があり生活力がない方、生活保護・就労へ繋げたいが朝起床できないとの理由でサービスに繋がらない方、中央区にある依存症の施設から逃げてくる方、お金を盗んで執行猶予中の方、ホストから抜け出せずお金を盗み、施設に戻りたくないことから、風俗店で寝泊まりしている方、再犯防止事業で関わっているが、自宅に戻るも逃げてきた自閉症の方、家族全員が知的障害で水道が止まり、7日間食事ができない世帯、茨城から仕事探しで就労移行支援事業所に相談にきた方、会社の寮を追い出され、住まいがない方等、若者や居所がないケースの相談が多くあった。生活は困窮しているが、障害の福祉的支援は受けておらず、女性支援や生活困窮のシェルターなどに繋ぐことが難しいケースが多いと感じている。福祉まるごとサポートセンターへ相談し、生活保護・食糧支援を手伝ってもらったり、マザーズコンフォートと連携したりしているが、今後どのように進めていこうかと思い提案させてもらった。

#### **千葉市引きこもり地域支援センター 武藤氏**

センターでは週1で誰でも参加できる場、月1での活動・若者が集まる場を提供している。引きこもり状態の人で家族以外の相談員とは話せるようになったが、他の人と話せないという方の一歩目の支援となっている。

どこまで対応できるかは不明だが希望があれば面談させてもらい、お話を伺えればと思う。

#### **千葉市社会福祉協議会 鈴木氏**

居場所だと、高齢・子育て世帯が対象だが、地域の人に事情を話して人と話す機会を設けることは可能性としては0ではないが、生活に困窮・障害となると社協も対応が難しく困るところもある。ただ、就労や生活福祉資金、生活自立、シェルター相談、社会援護課の同行などは可能。

#### **千葉市発達障害者支援センター 仲村氏**

刑務所出所ケースの相談はあるが、成人だと福祉サービスの拒否が強い傾向がある。提案をしても窮屈さで連絡が取れなくなる、いなくなるケースが多々ある。障害受容があると良いが、ない場合は千葉の方で医療の支援をしている少年院があるのでそこの対応などに期待などが出来ると思う。

#### **中央区基幹 伊藤氏**

居場所がない等の人には地域活動支援センターへ繋いでいたが、現在地域活動支援センターが減少傾向にある。手帳がなくても良いと言ってくれるため、大変あ

	<p>りがたかった。今後増えてくれたらと思うが、そのような情報があれば、わかる範囲であれば教えてほしい</p> <p><b>障害福祉サービス課施設支援班 木村氏</b></p> <p>地域活動支援センターの情報の状況把握が出来ていないので後日確認して報告させてもらいたい。</p>
	<p><b>議題 9 【案内】発達障害者支援センター</b> <span style="float: right;">資料 1 2</span></p> <p><b>千葉市発達障害者支援センター 仲村氏</b></p> <p>施設や機関向けの支援の案内について毎年配布させてもらっている。福祉サービスの事業所・保育園・幼稚園等に配布させてもらっているが現場レベルがこの情報をしらないということもあるのでもし何かの集まりの時にお知らせできるのであれば伝えてもらいたい。</p> <p>今年度から動画配信も始めている。児童系の施設を対象に作っているが児童に関わる方にも見てもらえたたらと思っている。</p>
	<p><b>議題 10 【案内】千葉市ひきこもり地域支援センター</b> <span style="float: right;">資料 1 3</span></p> <p><b>千葉市ひきこもり地域支援センター 武藤氏</b></p> <p>6月6日にこころの健康センターでひきこもりに関する講演会を開催する。少しだが枠が残っているので参加したい人がいれば教えてもらいたい。</p>
	<p><b>議題 11 【案内】千葉市社会福祉協議会</b> <span style="float: right;">資料 1 4</span></p> <p><b>千葉市社会福祉協議会 鈴木氏</b></p> <p>全国社会福祉協議会のホームページに助成金案内のチラシがあったので情報提供させてもらいたい。申し込み要領は資料の14-2の通りになっている。</p> <p>対象としては施設単位ではなくて法人・団体単位となっている。</p> <p>地域支援ネットワークづくりのセミナーやピアサポート研修会の開催資金などで活用してもらえたたらと思う。選考基準もあり、研究助成や施設管理維持の経費は対象外となる。申し込みについても内容を確認してもらえたたらと思う。</p> <p>助成金については、永年ではないので気を付けてもらえたたらと思う。</p>
次回予定	<p>日時：令和7年7月24日（木）14時～</p> <p>会場：緑保健福祉センター 大会議室</p>